

メール誤送信による個人情報漏えいについてのお詫びとご報告

令和8年6月11日
磐田市立総合病院
病院長 山崎 薫

このたび、当院職員が患者様へ電子メールを送信した際、宛先の設定を誤り、患者様の個人情報(氏名およびメールアドレス)が、メールを受信された患者様の間で相互に閲覧できる状態となる事案が発生いたしました。

対象となった患者様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1. 事案の概要

令和8年6月2日(火)16時19分頃、当院職員が、台風6号の接近に伴う注意喚起のため、特定の診療科を翌日受診予定の患者様32名に対し電子メールを一斉送信いたしました。その際、本来は宛先を「BCC」に設定して送信すべきところ、誤って「TO」に設定して送信したため、受信された患者様の間で、互いの氏名およびメールアドレスが閲覧できる状態となりました。

翌6月3日、患者様からのご連絡を受けた保健所からの指摘により、誤送信が判明いたしました。

2. 漏えいした個人情報

- ・ 対象者:当院の患者様32名
- ・ 漏えいした情報:氏名、メールアドレス

なお、現時点において、本事案による個人情報の不正利用等の二次被害は確認されておりません。

3. 判明後の対応

事実判明後、対象となった患者様に対し、直ちに情報流出の事実のご報告とお詫びを行いました。

4. 発生原因

メール送信時に、宛先を「BCC」に設定すべきところ、誤って「TO」に設定したまま送信したことによるものです。送信前に職員2名によるダブルチェックを実施しておりましたが、宛先が「BCC」に設定されているかの確認が不十分でした。

5. 再発防止策

本事案を重く受け止め、以下の再発防止策を講じました。

1. メールシステムの設定を変更し、外部への一斉送信メールは宛先を「TO」「CC」に設定した場合であっても、すべて自動的に「BCC」で送信される仕組みといたしました。
2. 全職員に対し、個人情報の取り扱いおよびメール送信時の確認手順について、改めて周知徹底と教育を実施いたします。

当院では、今回の事態を厳粛に受け止め、個人情報の適正な管理と保護の徹底に努め、再発防止と信頼回復に全力で取り組んでまいります。

このたびは、患者様ならびに関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

磐田市立総合病院 病院事務部 経営企画課

電話:0538-38-5000(受付時間:平日 8 時 30 分~17 時 15 分)